

ISO/IEC JTC 1/SC 17 リエゾン報告

2020-06-18

SC 17 国内委員長 廣川 勝久

ISO/IEC JTC 1/SC 17

(カード及び個人識別用セキュリティデバイス)

- タイトル :
Cards and Security Devices for Personal Identification
- スコープ:
Standardization in the area of:
 - Identification and related documents,
 - Cards,
 - Security devices and tokens,and interfaces associated with their use in inter-industry applications and international interchange
- 規格数: 発行済: 104／開発中: 39 (2020年6月現在)
- 参加国数: Pメンバ: 33カ国／Oメンバ: 22カ国
- (参考) 委員会名及びタイトル
 - 1969年 ISO/TC 95/SC 17 設立、タイトルは Identification and Credit Cards
 - 1979年 ISO/TC 97/SC 17 に再編
 - 1988年 ISO/IEC JTC 1/SC 17 に改組、タイトルを Identification Cards and Related Devices に変更
 - 1999年 タイトルを Cards and Personal Identification に変更
 - 2017年 タイトルを現タイトルに変更

ISO/IEC JTC 1/SC 17

(日本提案のNP – ISO/IEC 23220の新パート承認) - 1/2 -

- 近年、SC 17の国際規格が物理的なカード形状を前提にしない利用場面にも適用される状況が継続している
 - 上記を踏まえて設置されたSC 17/AG 2 (旧称SG 2): Virtual ID and Related Technologies (谷内田 益義議長)の活動成果に基づく日本提案のNPが ISO/IEC 23220 シリーズへの新パートとして承認された(2020年5月)
- ISO/IEC 23220シリーズと日本提案の新パート (1)
 - ISO/IEC 23220 Card and security devices for personal identification — Building blocks for identity management on mobile devices
(カード及び個人識別用セキュリティデバイス — モバイルデバイスにおける ID情報管理のためのビルディングブロック)
 - 開発中の先行パート
 - Part 1 Generic system architectures and transaction flows of mobile eID systems
(アーキテクチャ)
 - Part 2 Data objects and encoding rules for generic eID systems (データ要素と符号化方式)
 - Part 3 Protocols and services for issuing phase (プロトコル・発行フェーズ)
 - Part 4 Protocols and services for operational phase (プロトコル・運用フェーズ)
 - Part 5 Trust models and confidence level assessment (トラストモデルと信頼性評価)

ISO/IEC JTC 1/SC 17

(日本提案のNP – ISO/IEC 23220の新パート承認) - 2/2 -

● ISO/IEC 23220シリーズと日本提案の新パート (2)

➤ 日本提案の新パート

● Part 6 Mechanism for use of certification on trustworthiness of secure area

(セキュアエリアの信頼度に関する認証利用の仕組み)

- ✓ 新パートは、モバイル機器への身分証明書情報発行時にセキュアエリアが機能要件を満たしているかどうかを確認するための仕組みを標準化する
- ✓ 他のパートと合わせて、各種身分証明書機能を安心・安全にスマートフォンなどのモバイル機器にダウンロードして利用することが可能となり、身分証明に必要な情報や権利・資格などの情報を最新の状態で保持することが可能になる

➤ 関連する環境等

- ✓ 金融取引カード、パスポート、運転免許証等の高度な本人確認を必要とする用途にはICカードのセキュリティ機能が用いられ、発行者がメディアのセキュリティを確認のうえで発行している
- ✓ 一般にモバイル機器は発行者の管理下にはないためセキュリティを確認することが困難である
- ✓ モバイル機器でより高度な本人確認を可能とするためには、モバイル機器内に発行者の求めるセキュリティ要件を満たしたエリアが存在することを確認するための標準化された仕組みが必要である

国際SC17と国内SC17との関係

2020年6月現在

